



2026年5月12日

各位

会社名 株式会社オリジン
代表者名 代表取締役社長 CEO 稲葉 英樹
(コード：6513 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務執行役員 CFO
経営企画本部副本部長 赤松 敦
(TEL 048-755-9242)

売上原価（棚卸資産評価損）の計上、退職給付費用の減少及び繰延税金資産の取り崩し並びに通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期通期において、売上原価（棚卸資産評価損）の計上、退職給付費用の減少及び繰延税金資産の取り崩しを行いましたので、お知らせいたします。

また、2025年11月27日に公表いたしました通期連結業績予想と本日公表いたしました実績値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 売上原価（棚卸資産評価損）の計上

EV普及の停滞及び半導体メーカーの設備投資抑制の影響などにより、主にエレクトロニクス事業及びメカトロニクス事業において、需要予測の乖離により、一部製品の販売が当初計画に対し大きく下振れる結果となりました。また、その他（半導体デバイス事業）において、一部半導体製品の生産・販売終了にともない、保有する棚卸資産について収益性が低下したと判断し、棚卸資産評価損9億5百万円を売上原価に計上いたしました。

2. 退職給付費用の減少

退職給付債務の算定にあたり発生した数理計算上の差異（発生年度で全額費用処理。割引率の変更及び年金資産の運用益等で退職給付費用が減少。）により、7億8千3百万円をマイナス計上いたしました。

3. 繰延税金資産の取り崩し

最近の業績動向を踏まえ繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額に9億2千3百万円を計上いたしました。

4. 2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,500	△ 1,400	△ 1,100	△ 1,980	△ 376.65
今回実績値 (B)	26,878	△ 943	△ 384	△ 2,220	△ 422.32
増減額 (B-A)	377	456	715	△ 240	—
増減率 (%)	1.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	28,803	△ 246	208	△ 83	△ 15.50

(差異が生じた理由)

2026年3月期通期の業績につきましては、売上高が前回発表予想を上回りました。

損益面につきましては、棚卸資産評価損を計上したものの、各種経費節減への取り組みに加え、退職給付債務の算定にあたり発生した数理計算上の差異（発生年度で全額費用処理。割引率の変更及び年金資産の運用益等で退職給付費用が減少。）により売上原価及び販売管理費が低減し、営業損失は改善いたしました。経常損失についても為替差益を計上したことなどにより改善しております。親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、最近の業績動向を踏まえ繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩して法人税等調整額に計上したことから、前回発表予想を下回る結果となりました。

以上